

山行報告

■氷ノ山

＜アルプ＞

●日 程：3月17日(水)

●参加者：L 竹内 SL 須増 尾内 松下 三木(悦)

●行動記録：氷ノ山国際スキー場(8:25 着)8:55 発～東尾根登山口(9:00 着)～休憩(9:13 着・衣服調整)9:18 発～東尾根避難小屋(9:35 着)9:40 発～一の谷休憩所(10:15 着・アイゼン装着)10:30 発～休憩(11:00 着)11:05 発～休憩(11:15 着)11:30 発～氷ノ山避難小屋(11:55 着・昼食)12:45 発～休憩(13:10 着・ストック⇒ピッケルに取替)13:15 発～休憩(13:25 着・アイゼン取外し)13:40 発～東尾根避難小屋(14:17 着)14:23 発～東尾根登山口(14:45 着・ストレッチ)14:50 発～氷ノ山国際スキー場(15:00 着)

◆残雪の氷ノ山

松下

久しぶりの雪山は3月の氷ノ山です。アルプのメンバー5名でマイカー2台に分乗して各々の集合場所を6時に出発し、市川SAで待ち合わせをして、8時半前に氷ノ山国際スキー場へ除雪された林道を通って車を乗り入れた。雪が少ないようなので車にワカンをデポして出発した。

まずは東尾根登山口から東尾根避難小屋をめざして、杉林の九十九折の道をゆっくりと登って行く。この辺りの雪は無く、30分足らずで東尾根避難小屋へ着いた。この辺りでもほとんど雪は無かった。ここから一の谷を目指して尾根筋を進む。残雪が少しあるが、まだまだツボ足でGo! 10時過ぎに標高約1100m一の谷休憩所に着いた。まばらだがブナ林が広がっていて、ザラメ状になった残雪もそこそこあって、ここから急傾斜の雪尾根をアイゼンとピッケルで登る。リーダーは雪山デビューのメンバーにアイゼンの爪をフラットに置いてとか、ピックをこう使ってとか、雪山の基本のハウツーを確認しながら千本杉を目指して進んで行く。

急斜面を登り切った所でSLのSさんにトップを交代する。雪山のトップは体力の消耗が半端



でないから良い選択だと思う。ここからは緩斜面であるが、先の急斜面で体力を消耗したので足が重い。古千本辺りからトップをMさんに再度交代して進む。彼女は、ほぼ毎年積雪期の氷ノ山に参加しておられるということで、余裕で歩いておられる。

真冬だと、この山頂直下のだだっ広い雪原は物凄い風との闘いで白銀の世界だけれど、今日は風もあまり無く、若狭方面から鉢伏山へも360度のパノラマを楽しめるような絶好のハイキング日和。こんな青い空の日にこの山に登れるなんて何年ぶりかな～。

とんがり屋根の頂上避難小屋に11時55分に着いて、ゆっくりと昼食休憩後、記念写真を撮って下山開始した。下山時の難所も千本杉の下方の急坂で、慎重にピッケルを使って自分の身を確認しながら下って行く。一の谷から先は尾根筋下部をトラバースしながら進むと三角屋根の東尾根避難小屋へ着き、そこからあつという間に東尾根登山口へ着いた。休憩込みで6時間足らずであった。

雪山の空気は冷たく、すごく澄んでいて心地よい。おまけにこんなに良い天候に登れるのってそうそうない。すごく幸せな一日であった。今日は天候に恵まれて雪が少なかったが、3月の氷ノ山登山であれば、冬装備をベースに危機管理意識を持って準備する姿勢は譲れないと思う。それにしても、今年はもう少し雪があるかと思ったが、春が急ぎ足で来たような・・温暖化が進んでいるのか、年々積雪が少なくなって雪山ファンとしては淋しい限りである。それでも、コロナ禍で登れたのは計画してくださったリーダーと一緒してくださった皆さんがいたから・・ありがとうございました！

■角尾山

●日 程：3月20日(土)

●参加者：L 藤本 SL 矢根 小田 笹木 島谷 須増 田中(重) 春本 吉村

●行動記録：播磨中央公園 9:05 発～高倉・奥谷登山口(9:20 着)～峠(9:35 着)9:40 発～角尾山(10:40 着)11:00 発～峠(12:00 着)～光明寺(12:30 着)12:50 発～扇山(13:05 着)13:10 発～鉄塔(13:15 着)～播磨中央公園(13:40 着)

◆眺望満点・角尾山

島谷

「週末のお天気は下り坂」の予報に山行を心配しましたが、当日の朝は本当に雨が降るのかしらというぐらい明るい陽射しの中でスタートしました。ルートは、地図上で八の字を描いた線です。左下からスタートしましたが、午後からの雨に当たらないよう、上の円の右側をカットし、真ん中の峠から左へ進むコースで角尾山へピストンしました。

よく歩かれている山らしく登山道は広く、倒木や枝をあまり気にせずに歩けました。短い間隔でアップダウンを繰り返し、ロープが張られているくらい急な箇所もありおもしろかったです。次第に展望が開かれて、尾根上の私達は時折目線を上げて左右の景色を楽しみながら歩けました。



角尾山頂上では360度の眺望で山山山。南西に明石海峡大橋の鉄塔が見え、その左はお決まりの立派なお山。

北西方向にはとてもきれいな三角形のお山、「これは七種槍？いや明神か？」。北は本当に山だらけで、皆、満足気に声と笑顔がつきません。

いくつかの登山道交差点では標識があるものの微妙な道の角度で、仲間と「自分なら、さあ、どちらに行くの？」と地図やアプリで確かめながらの山歩きでした。途中、馬酔木が白い花を鈴なりに実らせ、きれいなピンク色はツツジ、そしてウグイスの上手な鳴き声は人間には心地よいです。

昼休憩は光明寺境内でゆっくり出来ました。土地の方がお参りに上がって来られていて、加東遺産に制定されているにふさわしい立派な仁王門に驚きました。

今日の最終の扇山からの眺望はあまり良くなく、ここでは不思議なベンチが注目をあびました。「木だ。プラスチックだ。カビの付き方が本物の〇〇〇だ。」

と罪作りのベンチが二つありました。次回扇山に登られたら、お確かめください。そこからの下りは鉄塔管理会社が設置している激しい段差の階段が続き、これが無ければきっと滑って転んで尻もちの続出だったとおもいます。私にとっては遠方の山行で、まず集合場所に着くのが大きなミッションでしたが、大満足な1日となりました。



■南山から日笠山

●日 程：3月23日(火)

●参加者：L上田 SL矢根 小田 砂川(延) 橋本(万) 春本 森本

●行動記録：御着駅 9:00 発～スポーツ広場(9:05 着)9:15 発～南山 10:10～姫路バイパス陸橋 10:47～的形町大鳥 10:50～夢公園(11:15 着)11:25 発～イタチ山 12:10～亀岩 12:20～一本松山 12:40～馬坂峠 13:25～夫婦岩 14:00～日笠山(14:10 着)

◆山桜に心癒された南山から日笠山

小田

気温1℃少し冷えた朝、少人数7名で御着駅から南山に向かって出発です。途中天川を渡り大乘山法華寺に立ち寄りしました。境内には紅白の椿や大きな枝垂れ桜が満開で見事でした。

登山口には「御着南山公園」の案内板があり、満開のソメイヨシノが私達を歓迎してくれているようでした。整備された幅の広い階段道を登って山の中に入っていくと広い展望広場に着きました。少し霞がかかっていましたが姫路城や姫路市街地の展望が広がっていました。休憩所の奥には山名の由来や歴史の解説板があり「火山(ひのやま)、神楽山」とも呼ばれていたようです。

10分程登ると西側に「牛岩」と呼ばれている大岩がありました。東側にも大岩があり桶居山から高御位山の山並みを望むことが出来ました。そこはリーダーのご来光スポットのようで

すが、2年前から木が高くなりすぎて、あまり見えなくなったそうです。

さらに登ると二番目の休憩所があり、周りの木々が伸びて展望もない広場です。案内板も薄くなって何が書いてあるか分からなくなっています。南山公園が作られた後は手入れもされてなく、今では荒れて訪れる人も少ないようで誰にも会いませんでした。

春光を浴びたコバノミツバツツジやそっと咲いているスミレに春を感じながら、姫路バイパス陸橋まで下り、大鳥地区から夢公園に歩く道路から見た日笠山の中腹にポツリ、ポツリと見える山桜の葉っぱのオレンジ色、花の薄ピンク、竹の黄緑色の素朴な景色に癒されました。山桜は近くで見るのも良いですが、遠くから見るのが大好きです。

日笠山は昨年のノジギクの頃に大塩駅から訪れたことがあります、今回は北脇から登る逆コースです。木の名前札を読みながら登って行き、木の名前を覚えようとしたのですが、覚えたのは台風で倒れた木が自然に起き上がった「起上がり古木」がアベマキってことぐらいかな。

亀岩から先程登った南山や麓の景色の眺望を暫く楽しみました。一本松の手前に昨年訪れた時には無かった「㊦展望台」「奇岩 亀」案内板があり、㊦って何だろう？と思い行ってみました。遊び心がある案内板でステキだなと思いました。

日笠山頂上のソメイヨシノはまだチラホラ咲きで少し残念でした。今週末頃が満開かな？

ボタン桜の名所でも知られているようですが、ボタン桜はまだまだ固い蕾でした。

近くの会長の畑を見に行った時、隣の方に頂いた焼きたてのホカホカ焼き芋が、甘くてジュシーでとっても美味しかったので、幸せな気分 JR 組と山電組に別れて駅に向かいました。

日中は4月並みの暖かさとなり、山桜やツツジの花、自然の景色に癒されながら山歩きが出来てとても楽しかったです。有難うございました。



■姫路市・的形ふるさと里山回廊

●日 程：3月24日(水)

●参 加 者：La 澤田(律) SLa 砂川(延) 笹木 佐野 砂川(美) 苦瓜

Lb 上田 SLb 木村 内海 小田 貝塚(陽) 香川 垣内

Lc 三木(悦) SLc 矢根 兼本 春本 福田 藤原(千) 安田

●行動記録：山電的形駅 9:10 発～柳池公園(9:20 着)9:30 発～坂の山(9:55 着)10:05 発～大日山(10:20 着)10:30 発～青の山(10:50 着)10:55 発～青の山南登山口(11:25 着)～高坪山(11:45 着)12:10 発～福圓寺県道南口(12:35 着)～八家地藏(12:45 着)～マリーナベルト(13:00 着)13:10 発～行基が鼻(13:15 着)～磯山(13:35 着)13:40 発～向山(13:45 着)～山電的形駅(14:15 着)

◆的形ふるさと里山回廊に参加して

砂川(美)

的形駅に着くと青空の向こうに低い連山が見え、山桜が山を飾って、まさに山笑う景色に心がはずんでくる。3班20名もの参加で、みんな楽しそう。

元気で行けるかなと少々不安もあったが、柳池公園でのストレッチも入念にしてもらって、リーダーがゆっくり歩いてくれ、林の中を登っていく。竹林が多く孟宗竹の竹林は、よく整備されていて今にも筍が芽を出しているのではと目をきょろきょろさせて登る。

木々には木の名札が付けられており、足元も木の階段がつけられ、歩く道も良く手入れされている。どの木々も春の芽吹きを感じさせ気持ちがいい山歩きである。要所、要所には休憩用の椅子まであり、町や海を見下ろしながら100mあまりの連山の尾根歩きは、本当に楽しい。竹林の中では“四方竹”という四角の竹や、ハチクもあり、根元は、元々は段々畑だったのかと思われた。

途中、里山ボランティアの方々も木の伐採もされていて、急な斜面にはトラロープも張っており、案内板も丁寧で里山にかけける熱意の強さに圧倒された。一つのハテナは大きな木の下に巻き貝の小さな殻が無数に落ちていたけど、昔の海とも考えられず、これは、カタツムリの親戚の虫かな。

展望の良い所から海を見ると入江になっている。東北地震から丁度10年、もし、これが太平洋側なら山裾まで津波のくる距離だ。津波が来たら、この山まで逃げるんだと、おだやかな瀬戸内の海を見ながら思った。

お昼前には高坪山北登山口に着き、海の方の山へ登り返した。山を下っていくと福泊港があった。昔の面影を残す立派な町並みがあり、福泊という名も気になったが、やはり昔、唐や韓に往ききする船の多くが出入りしていた港らしい。

一連の山々は奇岩、巨石でびっくりしたが城跡の名残もあり、神社や寺院、地蔵も多く、昔は海難事故や争いもあったし塩田も盛んだっただろう。

山の頂上から異様に見えた塩田跡の太陽光パネルも今の時代、仕方がないことなのかと思ったが、落ち着いた昔の町並みに、もうひとつ異様なマンションがあった。



超特大で「自然との調和に配慮した居心地良い生活空間」をイメージして建てられたとのことだったが、ぜんぜん調和していないと思った。この町の人が、みんな入居できる位の大きさだった。しかし、これも塩田の大地主が、この時代に合わせて生きていく策の一つかもと一人勝手に考えていた。

海辺に下った私たちだったが、やはり最後は、磯山登山口から向山へ登った。ストックを片付けてしまっていた私は、竹の棒を拾って歩いた。山の会だったと思いながら。

本当にいい山行でした。リーダーはじめ、みんなありがとう！



◆的形山桜 お花見山行

福田

去年の4月から約1年ぶりの例会参加です。的形駅前の無料駐輪場にバイクを停め、集合場所に行くとき々と参加者さんが集合。今朝は春のような陽気です。

集合場所で偶然通りかかったご近所にお住まいの方から予定していたルートよりも更に南のマリーンという海岸沿いの道を勧めて頂いたそうで、リーダーさんより準備体操のあとコースの変更の案内がありました。

まず、1つ目の山 坂の山は山頂まで登山道沿いにツツジがたくさん。咲くとこの路はピンク色に染まりそうです。山桜があちこちで咲いているのを眺めながら歩いていると、あら？もう大日山頂上。そうは言っても標高107,4m海岸に近いこともあり、的形の街や海、遠くの島まで見えて絶景です。一旦国道に降りたあと次のピーク高坪山でお昼ごはん。やっぱり山で食べるお弁当は最高です。その後海岸沿いは波も穏やかで気持ちのいいハイキングになりました。



今回のコースは、次はツツジの咲く頃に来ようかな？両親を連れて来週あたり来れば染井吉野も満開かな？そんな何度も再訪したくなる良い場所でした。素敵な例会を組んでくださったリーダーさんありがとうございます。

■六甲西半縦

＜女性委員会・男性参加可＞

●日 程：3月27日(土)

●参加者：L尾内 SL島谷 天野 上田 兼澤 田羅間 徳本

●行動記録：須磨浦公園駅 7:50 発～旗振山(8:30 着)～横尾山(9:45 着)～妙法寺(10:50 着)11:05 発～高取山(12:00 着)12:20 発～鶴越駅(13:20 着)～菊水山(14:40 着)15:00 発～鍋蓋山(16:05 着)16:15 発～大龍寺(16:45 着)～市ヶ原(17:00 着)17:10 発～新神戸駅(17:55 着)

◆はじめての六甲西半縦

徳本

3月27日土曜日 須磨浦公園駅に7時40分に集合。広場でストレッチをして出発しました。海の景色がとてもきれいかったです。長い階段を登って行きました。階段を登って登山道を少し歩いて行くと旗振山に着きました。休憩はせずにどんどん尾根を歩いて行きました。風が心地よくとても気持ちがよかったです。高倉台の団地に出る階段を下りて行きました。後ろを振り返るとさっき登ってきた山が見えました。「あんな所から歩いてきたのか。」と思いました。そして、高倉台の団地の間を歩いて行きました。

はじめに、横尾山に続く長い階段をゆっくり登って行きました。前回のときは、途中で何回

か休んだのですが、今日は一気に登って行きました。

「休憩なしで登れた。よかった。」と思いました。また、登山道をどんどん登って行きました。やっと横尾山頂上に着きました。横尾山を過ぎると須磨アルプスの標識がありました。

これまでの登山道と違って人ひとりが通れるくらいの道幅で横は絶壁でした。転んだら下に転げ落ちそうで慎重に歩いて行きました。「ここが馬の背なのだ。」と思いました。少し怖かったです。馬の背を過ぎるとどんどん下って行きました。下りはよく整備されていて歩きやすかったです。やっと住宅街にできました。電柱に六甲縦走と書いた標識がありました。住宅の中を歩いて妙法寺に着きました。また、住宅の中をどんどん歩き、登山道に入りました。



次は、高取山の頂上目指して登って行きました。とても急な登山道で疲れしました。高取神社に着きました。ここで休憩しました。今度は下りです。どんどん下って行きました。また、住宅街に出ました。どんどん歩いて行くと鴨越駅に着きました。鴨越駅の横を通って舗装された道を歩きました。菊水山の標識がありました。住宅街の舗装された道を登って行きました。この住宅街の道がとても疲れしました。

こんどは、菊水山の登山道に入りました。とても急登でもう少しで頂上だということで足のふくらはぎが痛みました。少し休んだら治まってきました。やっとの思いで登るとアンテナが見えました。菊水山の頂上に到着しました。足がつったのでこれから続けられるのか不安でした。ここでおにぎりを食べました。おにぎりを食べると元気になってきました。登山を続けることにしました。

それから、鍋蓋山を目指して下って行きました。下りは、登山道が崩れていたところがあって険しかったです。どんどん歩いて行き車道を横切る天王吊橋を渡りました。川沿いに歩いて



行き鍋蓋山の登山道に入りました。鍋蓋山も急登でした。もう頂上かなと思ってまだまだでした。やっとのことで頂上に着きました。ここで少し休みました。後は下りだと思うとうれしくなりました。新神戸駅めざしてどんどん下って行きました。

最後に広場でストレッチをしました。新神戸駅に着いたのは18時頃でした。7時40分から18時まで長い時間歩きました。旗振山 横尾山 高取山 菊水山 鍋蓋山と縦走しました。途中で体力が尽きて挫折するかなと思っていたのですが、皆さんと一緒に縦走することができました。本当に夢のようでした。

リーダーさんはじめメンバーの方々いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

■藤ノ木山

＜女性委員会＞

●日 程：4月3日(土)

●参 加 者：La 垣内 SLa 尾内 泉 小田 香川 木村

Lb 澤田(律) SLb 島谷 笹木 瀧原 田中(由) 苦瓜 平石

Lc 松下 SLc 安田 本田 徳本 村上 山本(清) 矢根

●行動記録：公園駐車場 9:20 発～東の山頂上(9:40 着)～第2展望台(10:15 着)10:25 発～藤ノ木山山頂(10:30 着)11:05 発～第1展望台(11:30 着)11:50 発～アンテナ(12:20 着)12:30 発～焼山(13:15 着)13:25 発～アンテナ(14:10 着)～公園駐車場(14:55 着)

◆藤ノ木山山行に参加して

泉

久しぶりの山行参加でした。日頃の緩み放題の体には堪えました。小学生の野外活動場所で大したことはないだろうと油断していました。

藤ノ木自然公園には数年前にドウダンツツジの紅葉が美しい頃に義姉の案内で母と来たことがあります。そのドウダンツツジは白い可愛い花をつけていました。少し前までは山桜が雪洞のように山を明るくしていたが、すっかり新緑の山に変わっていました。前夜は久しぶりの山行に何か気持ちが高ぶり寝付けなかったので体調が不安でした。登山口から長い上りで、やはり息があがり最初の東の山頂上まできつかったです。

山道はツツジが満開で乙女達の後ろ姿が薄紫や濃い紫のツツジの花に包まれているようでした。里に目をやると桜が満開でピンクの帯が広がっています。何て素晴らしい時期に連れてきていただいたかと感謝しながら歩きました。牧野キャンプ場焼山分岐を過ぎた辺りから心配した通り両足の腿がピクピクやばいぞ！と思いながら何とか歩き、休憩場所のあずまやで漢方薬を飲めて助かりました。

神谷ダムを眼下に眺め、焼山から野外活動センターまでは途中まで来たルートを引き返します。センターから駐車場まではドウダンツツジの小径です。駐車場に下りてきたら迎えてくれたのは満開の桜と椿の真っ赤な大きな花です。今回はお花見山行でした。体は少々疲れましたが、気持ちは癒されました。お世話くださった皆様ありがとうございます。やっぱり皆で歩くのは楽しいです(^o^)



【A班】



【B班】



【C班】

◆春の里山、つつじの回廊を通り抜けて

笹木

山桜に代わって若葉の新緑が目立ちはじめた山々を眺めながら藤ノ木山自然公園駐車場に向かいました。藤ノ木山自然公園は初めてで、登山するような山があったかしら？程度の認識でしたが、歩いてみると、低山ながら眺望の良い尾根が連なり、善防周辺の山に似て良いトレーニングコースになりそうな山でした。

参加者20人で3チームに分かれてスタートしました。登山口から少し登ると、のっけから鎖のついた岩場があり少し緊張しましたが、そこを登りきるとすぐに尾根に出て、程なくして第二展望台に到着。360度眺望バツグン、加西の街並みを眼下に見て、東南に善防山、笠松山、遠く西に連なる山々の中に形の良い明神らしき山があり、後ろを振り返ると自然公園の駐車場から歩いてきた道程がきれいに見えました。山桜は大方散って登山道の絨毯となり、代わって満開の山つつじが私達を迎えてくれました。歩く先々、両サイドに濃い、薄いピンク色のつつじが咲き誇り、ピンクの回廊を通り抜ける感じでした。尾根から尾根へ、アップダウンを繰り返し、山頂に着いたら一休み。ゆっくりしたペースで歩いてもらったので疲れを感じることなく、終始、和やかなおしゃべりと笑い声に包まれて、女性委員会らしい山行だったと思います。

藤ノ木山山頂では三角巾の使い方の実技があり、皆さん真剣に取り組んでいました。スムーズな畳み方や骨折肢の固定法、固結びの解き方など、メンバー同士でお互いにやりあってみて、改めてしっかり理解できたと思います。講師をしてくださった田中由紀子さん、有難うございました。

第一展望台で昼食をとり、後半は牧野自然公園に入り、終点の焼山からは神谷ダム湖が一望でき素晴らしかったです。急峻な岩場や坂道もありましたが、鎖や階段が整備され全コース通して歩きやすく、お天気も薄曇りで適度に風も涼しく爽やかに歩くことが出来ました。又、歩きながら病氣や怪我で療養している会員の話も聞きました。改めて、元気でこうして山歩き出来る今をありがたく思い、コロナ自粛で遠出できない今だからこそ、里山をゆっくり歩くことが出来、改めてその素晴らしさに気づくことが出来たと思います。

これからも怪我やコロナ感染予防等々に留意して山歩きを楽しみたいと思います。



■新竜アルプス

●日 程：4月7日(水)

●参加者：La 上田 SLa 木村 笹木 澤田(律) 島谷 田中(重) 田中(由)
Lb 垣内 SLb 野村 小田 西川 春本 矢根

●行動記録：播磨新宮駅 8:05 発～市野保通過 8:25～水布弥登山口(8:40 着)8:50 発～十字路通過 9:20～祇園嶽(9:30 着)9:45 発～十字路通過 9:50～亀池(10:20 着)10:30 発～城山(10:55 着) 11:15 発～城山跡(三基塚) 通過 11:40～382.7ピーク(12:10) 12:25 発～的場山(12:50 着)13:05 発～両見坂(13:40 着)13:45 発～鶏籠山(14:00 着)14:20 発～龍野城(14:40 着)

◆新竜アルプスに参加して

田中(重)

新コロナ渦と変異種ウイルスで騒がれている中、JR 姫路駅から播磨新宮までの約 30 分・・・当然マスク着用での移動です。

新緑で快晴に恵まれた爽やかな山行日和・・・播磨新宮駅（8:05）から市野保集落を経て水布弥登山口まで約 40 分のアプローチです。

私は初めての新竜アルプスなので楽しみにしていました・・・ストレッチをして直近の祇園岳目指して出発・急登を進むと木々の間から祇園岳展望の良いところに差し掛かる。

山腹に沿った足場の悪い斜面に気をつけながら高度を上げ、やがて十字路に・・・汗が噴きでるが風が冷たくて気持ちが良い。

上田 L のあと 10 分ほどで祇園岳との掛け声に一息入れる間もなく目指しました。

祇園岳では展望もよく三角錐の明神山遠望、のどかな姫新沿線に会話も弾むひと時でした。・・・班ごとの写真を撮り次なる目的地へ・・・途中、蛙岩や亀岩を見ながら亀の池に着く（なんと読図山行での思い出の処にビックリです）



小休憩して城山（亀山）へ向かいましたが何度もアップダウンの繰り返しでしたが、カラムラサキツツジの花に癒されながら城山へ歩を進めました。

ここで少し早めの昼食タイム、やれやれで胃袋と体力の充電をして後半の始まりです。

龍野城跡までの U 字型に連なる山並みの向こうに見える電波塔のある的場山目指して急な下りと急登に疲労はピークに、更に的場山からは急坂を下り鶏籠山に辿り着きました。

ここからの景色も素晴らしく白毛山電波塔から京見山への山並みや家島諸島がすっきり望め疲れを忘れてくれました。

そして龍野城址から龍野公園へて本竜野駅（15:15）迄の約 17km を無事に歩き終えました。

里山とはいえ気の抜けない新竜アルプス（約 10 km YAMAP 軌跡）思い出に残る厳しくも楽しい山行でした。

上田 L ・参加の皆さま お世話になりました。ありがとうございました。

* 東鯺埼あたりの車窓から山並みを見ると釈迦涅槃像に見える（上田 L からの山行案内）スマホで撮り帰宅してから確認すると確かに釈迦涅槃の合掌姿に見えました。

◆車窓からも楽しめた新竜アルプス

小田

雨上がりのひんやりとした朝、濃霧で視界が悪く車で駅まで行けるか心配しました。その上電車の時間を勘違いしていて大慌てで家を出ましたが、無事電車にも間に合いほっとしました。姫新線に乗るのは初めてで車窓からの風景を楽しみました。

龍野～播磨新宮を結ぶ縦走コースだから「新竜アルプス」というらしい。リーダーから事前に「東鯺埼駅を過ぎたあたりから見える揖保川の向こうの山並みが新竜アルプスでお釈迦様が亡くなった時の姿「涅槃」に見えるので、そう思って見てください」と連絡を頂いていたので、

車窓から「顔が鶏籠山、胸が的場山、亀山（きのやま）がお腹かな？ほんと寝釈迦に見えるね」とワイワイ楽しみテンションが上がりました。

水布弥登山口から祇園嶽までの登山道は、シダが生い茂り行く手を阻み痩せ尾根で右側が切れ落ちているので、みんな話声もなく慎重に歩きました。祇園嶽頂上からは明神山、国民宿舎「志んぐ荘」・揖保川流域など新宮の町並みが見渡せます。4年前の山行ではヤマヒルがいたそうですが今回はヤマヒルが見当たらずで安心です。

亀山からの的場山までは所々展望の良いポイントもあり、ツツジ尾根の名の如くほぼ満開で綺麗でした。ただ小刻みのアップダウンがあり随分遠く感じました。今おへソの辺りを歩いているのかなぁ？と言いながら、やっと着いた広い的場山は展望が良く瀬戸内海まで一望出来て絶景でした。そこから長い急な坂道を両見坂まで慎重に下って行きました。



最後の山、鶏籠山は疲れて足が上がりなくてヘトヘトになりながら登り、龍野城まで下りてきました。桜も少しは残っているかなぁと期待していましたが残念でした。帰りにしょうゆ饅頭と練り羊羹をお土産に買い、駅でしょうゆソフトクリームを食べて大満足の日でした。

清々しい陽気の中、リーダーはじめ皆さんのおかげで低山ながらも4座を縦走出来た充実感は大きく自信にもなりました。有難うございました。

■高森ボランティア活動

- 日 程：3月20日(土)
- 集合場所・時間：ウェルネスパーク駐車場・午前9時
- 参加者：内海 河崎 佐々木 澤田(律) 砂川(延) 荘所 藤原(千) 三木(悦) 森本 山本(正)
- 作業場所：飯盛山への南新登山道(少年自然の家の東駐車場)
- 作業内容：少年自然の家の東、平荘湖の小さな島の前にある駐車場から相ノ山に上がる登山道の草刈り作業を行い新たに整備する。
登山道の入り口(南、東)2か所と相ノ山、飯盛山への分岐点1か所に案内標識を設置する。
- 作業時間：9:00～10:30

報告：荘所

当日は良い天気で皆さんの作業効率も良かったのではないのでしょうか。

内海さん特製の案内標識三つ(写真参照)を三カ所に分かれて作業を行った。まず一カ所は平荘湖、東堤防の道路を挟んで向かい側の飯盛山への登山口、2カ所目は小島の前にある駐車場東から入る登山道の入り口に設置、3カ所目は、この場所から相ノ山、飯盛山へ上がる途中、岩盤の手前にある登山道の分岐点に上がり分岐点を示す標識を設置した。

相ノ山に上がる登山道は少年自然の家の東駐車場から上がるルートがあり、以前に入り口岩場の急登箇所へ島本さんにロープを設置してもらっている。

今回新たに整備した箇所は、相ノ山から登山道なりに直に降りてくると、小島の前の道路に

出るが、山裾でカーブがあり、往来する車の見通しが悪く、湖岸の周遊路に出るのも周遊路側に柵もあり危険な状況がある。

この登山道はバイク野郎が使っている可能性が高く、尾根上部に転回箇所が見受けられる。今回、ルートを整備した登山道は、相ノ山から鉄塔2カ所を超えて下山する途中に岩場があるが、この岩場の上部から脇に分かれて、駐車場に降りるルートを整備しており、途中、分岐箇所にテープで目印も付けている。又、駐車場入り口から岩場に出るまでの登山道が樹林の下で草に覆われ分かり辛い状況があった。

草刈り作業を行い登山道として整備作業を行ったので、この駐車場東からのルートが新たに確立され飯盛山へ歩きやすくなっている。現地に行かれましたら是非、このルートの確認してほしい所だ。

